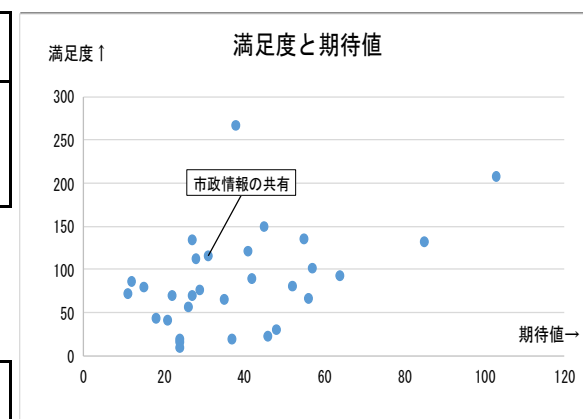


施策評価シート（発信力の強化・双方向による共有）

1 施策概要

まちの姿 1	人権が尊重され、市民が主役となるまち
説明	<p>地域で安心して住み続けるためには、お互いを理解し、認め合い、共に支え合う、人権を尊重する気持ちが地域全体に広がることが大切です。</p> <p>そのため、年齢や性別、障がいの有無や異なる文化・価値観等を認め合う「男女共同参画社会」や「多文化共生社会」といった、多様な主体がお互いを尊重し合う気持ちを醸成し、浸透させることで、誰もが平和に暮らすことができる「人権が尊重されるまち」を目指します。</p> <p>また、市民が主体となったまちづくりを進めていくためには、市民一人ひとりの自治意識や地域の連帯感を高めていくことが大切です。</p> <p>そのため、多くの市民や団体等が積極的にまちづくりに参加できる様々な機会を設けるとともに、必要な情報発信を行い、多様な主体が活発に活動することができる「市民が主役となるまち」を目指します。また、地域に潜在している市民活動に関心のある方や様々なスキルやつながりを持った方を掘り起こし、協働の裾野を広げていく仕組みづくりを推進していきます。</p>

施策1-③	市政情報の共有								
目指す姿	誰もが市政情報入手しやすい環境が整っていると同時に、行政運営の透明性が確保されていることで、市民と市が市政情報を共有し、市民参加・市民協働によるまちづくりが進んでいます。								
市民アンケート結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>満足度順位</th> <th>期待値</th> <th>期待値順位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>115</td> <td>8/30</td> <td>31</td> <td>16/30</td> </tr> </tbody> </table>	満足度	満足度順位	期待値	期待値順位	115	8/30	31	16/30
満足度	満足度順位	期待値	期待値順位						
115	8/30	31	16/30						



施策の方向性	発信力の強化・双方向による共有
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市政情報の内容について、市民の目線に立った刷新やオープンデータ活用の推進等、より多くの市民に理解や関心を持ってもらえるよう取り組んでいます。 ・市政情報の発信方法について、市政情報を伝えたい対象や世代に合わせた様々な方法により、誰にでも分かりやすく、効果的かつ効率的な発信となるよう取り組んでいます。 ・市民と共有して初めて価値が出るという考えのもと、市政情報を単に発信するだけではなく、SNS等を活用する等、市民と行政の双方向のコミュニケーションを通じて市政情報を共有していきます。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の根幹となるツールである広報こまへいについて、市民アンケートを踏まえた改善等、より多くの市民に読んでもらえるような工夫を行っています。また、市ホームページについて、スマートフォンからも閲覧できるようになっており、市政情報入手しやすい環境づくりに取り組んでいます。市政情報を全ての市民に対し、様々な方法で分かりやすく届けていくため、今後も更なる情報発信力の強化に努めていく必要があります。 ・ICTの進展を踏まえ、ツイッターやフェイスブック、ユーチューブ、インスタグラムといったSNSツールを活用し、リアルタイムを意識した市政情報の発信を行っています。しかしながら、SNSツールによる情報発信については、効果的な発信を行うためのノウハウが行政内部で十分でないという課題があります。

担当部署	秘書広報室、政策室、総務課、安心安全課、地域活性化課、子ども政策課、環境政策課、学校教育課、公民館、図書館
------	-------------------------------------------------------

2 施策に係る取組内容

No.	事務事業名	担当課	事業概要	成果
1	広報こまへの発行	秘書広報室	広報こまを毎月1日・15日の2回、市政情報等の行政全般を広く知っていただくため発行している。	ユニバーサルデザインに配慮した広報こまを月2回の発行し、新聞折込や公共施設、小田急線市内3駅のほか、市内店舗等に配架した。令和2年度は新型コロナウイルスの関連情報を筆頭に、市民にとって重要な情報について、機を逃さずに届けるよう努めた。また、広報こまの発行日に市公式Twitter、市公式Facebookでお知らせした。
2	安心安全通信の発行	安心安全課	市民の防犯・防災意識の向上を図ることを目的に、防災・防犯・消防に関する情報を掲載した安心安全通信を年3回発行している。	令和2年度は防災特集号を発行し、風水害への備えや洪水ハザードマップの修正等を全戸配布や公共施設、小田急線市内3駅への配架により市民へ周知し、防災意識の向上を図った。
3	市民活動・生活情報誌「わっこ」の発行	政策室	市民活動団体がより活発に活動できる環境整備の一環として、団体の情報・会員募集・活動紹介等を掲載した情報誌を毎月1回発行している。	市民活動への理解のあるNPO法人への委託により、月1回発行し、新聞折込や公共施設、小田急線市内3駅等の市内各所への配架等することで、市民活動団体の情報を広く周知し、市民活動団体の活動の活性化につなげた。
4	環境広報誌「こまeco通信」の発行	環境政策課	市民の環境保全意識の啓発に向けて、年に3回、環境情報専門の広報誌「こまeco通信」を作成し、全戸配布する。	令和2年度は3回発行し、全戸配布のほか、公共施設や小田急線狛江駅等に配架した。また、内容をリニューアルし、市民の関心を引きやすく、かつ、読みやすい紙面づくりに努めた。通信で取り上げた活動団体への参加希望や、市民から環境問題について考えるきっかけとなったとの声も頂いており、一定の成果をあげている。
5	教育委員会広報誌「ガク☆チキ」の発行	学校教育課	「学校と地域をつなぐ」をコンセプトとして、学校の活動や教育委員会について、より理解を深め、興味を持ってもらうこと、また、学校の活動に参加する地域住民を増やすことを目的に、教育委員会広報誌として年2回発行している。発行に当たっては、教育部の職員による編集委員会を組織し、企画の立案、調整、取材、原稿執筆等を行っている。	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により取材等が行えず、2回の発行予定が1回となった。多くの市民に手に取ってもらえるよう、新聞折込や各小中学校を通じた配布に加え、中央公民館や西河原公民館、あいとびあセンター、小田急線市内3駅にも配架した。
6	こまえ公民館だよりの発行	公民館	公民館活動が地域に根付くような交流と情報のひろばとするため、公民館利用者を編集委員として年3回程度公民館の情報誌を発行している。	令和2年度は3回発行し、公民館運営審議会の議論の動向、公民館事業の周知や報告等を中心に掲載した。発行に当たっては、公民館運営審議会委員や公民館利用団体の会員等、市民からなる編集委員と協働しながら作成する等、市民同士、団体同士のつながりを醸成し、市民目線による情報発信に努めた。
7	こまえ図書館だよりの発行	図書館	図書館利用者への情報発信と事業の記録を目的として、年2回程度図書館の情報誌を発行している。	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休館や館内閲覧制限があったことに伴い、令和2年度は1回の発行となった。図書館における感染症対策の取組、令和2年度の新たな取組であるこまえ電子図書館や中高生世代へのブックリストの紹介等について発信した。

No.	事務事業名		担当課	事業概要	成果
8	ウェブサイト	狛江市ホームページの運営	秘書広報室	狛江市ホームページにて、最新の市政情報等を発信している。	より利用しやすいホームページを目指し、令和2年10月にデザイン及び機能のリニューアルを行った。新たな機能として、アクセス負荷分散のため、ミラーサーバーを導入する等、安定的な情報発信の確保を図った。令和2年度は新型コロナウイルスの関連情報に対して、多くのアクセスがあり、2,009,314件/年と例年以上のアクセス件数があった。
9		子育てポータルサイトの運営	子ども政策課	子育て中の方への情報発信を目的として、こまえ子育てねっとやこまえスマイルぴーれをはじめとした子育てポータルサイトの運営を行う。	子育て中の方への情報発信ツールの1つとして、こまえ子育てねっとや子育て世代の市民が執筆・編集するスマイルぴーれをはじめとした子育てポータルサイトの運用を行い、子育てポータルサイトの令和2年度のアクセス数は276,869件/年となった。また、こまえスマイルぴーれのサイト会議をオンラインも含めて毎月開催した。
10	S N S	SNSを活用した情報発信事業	秘書広報室 子ども政策課 環境政策課	TwitterやFacebook、YouTube、InstagramといったSNSツールを活用し、市政情報等の発信を随時行っている。また、子育て情報及び環境保全情報を発信するため、Twitter専用アカウントを活用して、イベント情報等の発信を随時行っている。	令和2年度は、新型コロナウイルスの影響でイベントの多くが中止となったため、市制施行50周年の機運を高める情報、イベント情報及び子育て情報や環境保全情報を発信するツールとしてSNSを活用したほか、新型コロナウイルス関連情報などの重要なお知らせを随時発信する等、市ホームページの補完的な役割を果たした。また、SNSの特性を活かし、狛江の魅力や明るい話題などを積極的に発信し、狛江に関心、愛着を持っていただけるように取り組んだ。加えて、網羅的な発信に留まらず、セグメント配信の検討を行うとともに、令和3年度よりLINEを導入し、情報発信のみならず、新たな行政サービスのツールとして利用していくため、導入準備を進めた。
11	電子媒体による情報発信	デジタルサイネージの設置、運用	秘書広報室	災害時等に市からの緊急情報を発信することを目的として、デジタルサイネージを市役所をはじめとする市内公共施設、公園のほか、小田急線狛江駅等に設置している。	平常時においては市政情報等を発信しており、情報発信の強化及びシティセールスの一翼を担っている。また、大規模な災害の発生時等には、災害情報や避難所開設情報等を発信していく。
12		多言語アプリ「カタログポケット」の導入	秘書広報室	市の情報をより広く発信するため、スマートフォンやタブレット端末を使って、英語や中国語、韓国語等、多言語への翻訳や音声読み上げ機能、文字の拡大機能を有する無料アプリを導入し、日本語を母語としない外国籍の方に市政情報を届けること、また、高齢者や障がいのある方にも優しい情報提供を図る。	令和2年度より、10言語読み上げ、文字拡大機能を有する多言語アプリ「カタログポケット」を導入し、広報こまえや安心安全通信をはじめとする広報紙等の配信を行うことで、より多くの方に市政情報を届けるとともに、市政への関心を持っていただけるよう努めた。
13		こまえ安心安全情報メールの配信	安心安全課	防犯、特殊詐欺入電情報、防災等、市からの安心安全情報を配信する登録制メールサービス	令和2年度は、こまえ安心安全情報メールの登録者に向けて、新型コロナウイルス感染症、特殊詐欺及び熱中症に関する注意喚起を行ったほか、安心安全通信等に本サービスの概要を掲載するとともに、メール登録フォーマットのリンクを載せる等、より多くの方に登録いただけるよう周知し、令和2年度の登録数は16,161件となった。
14		オープンデータの活用推進	総務課	オープンデータとして活用可能なデータを取りまとめ、東京都オープンデータカタログサイトで、オープンデータを公開している。	令和2年度は、引き続きイベント一覧、観光施設一覧、文化財一覧、公共施設一覧の4つのデータについて公開し、民間事業者等の活用基盤を整備した。
15		こまえ電子図書館による情報の公開	図書館	非来館型のサービスとして、自己所有のパソコンやタブレット、スマートフォンで電子書籍の貸出・閲覧ができるこまえ電子図書館を実施している。	令和2年6月10日より開設し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため図書館の休館や外出自粛が求められる状況においてもサービスの提供が可能となった。また、狛江市が発行している独自資料の収集・公開に努めた。

No.	事務事業名		担当課	事業概要	成果
16	広聴事業	ふらっと移動市長室の実施	秘書広報室	市民からの意見を広く聴き、各施策に対して市民の声を反映していくため、市長と直接意見交換する場としてふらっと移動市長室を実施している。	令和2年度は中学生、20代、20～30代及び40代前後の4区分ごとに参加者を募集し、「これからの未来について」というテーマの下、市の取組に対する幅広い意見を伺う場として、また、市長と直接意見交換する場として開催した。
17		市長への手紙制度	秘書広報室	市民の市政に関する意見や質問、要望等を広く聴くことにより市政運営の参考にすることを目的とし、専用はがきのほか、メール等で受け付け、回答している。	令和2年度は249件受け付け、そのうち、市ホームページに135件掲載するとともに、意見内容を市政への参考とすることで、市民との協働によるまちづくりを進めた。
18	その他	パブリシティの活用	秘書広報室 関係各課	狛江市の取組や市民の活動などを報道機関等にリリースし、市の取組や狛江の魅力等を市内外に広く発信している。	令和2年度は、報道機関等に市の取組を積極的にリリースすることにより、市民と市政情報の共有を図るとともに、市外にも広く情報を発信することができた。また、コミュニティFM（コマラジ）にて、市政情報や狛江の魅力を発信するための広報番組のコーナーの設置に向けて準備を進めた。
19		防災行政無線の運用	安心安全課	市からの緊急情報を屋外スピーカーを用いて発信する。	令和2年度は、市からの緊急情報として、新型コロナウイルス感染症、特殊詐欺及び熱中症に関する注意喚起を行ったほか、子ども見守り放送を行った。
20		ウェブアクセシビリティ研修の実施	秘書広報室	高齢者や障がいがある方を含め、全ての利用者の利便性向上と分かりやすいページ作成を目指すことを目的に、ウェブアクセシビリティ向上のための操作講習等を行うウェブアクセシビリティ研修を実施する。	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、研修を実施できなかったが、引き続き、狛江市公式ホームページウェブアクセシビリティ方針に基づき、マニュアルを作成し、職員に共有することで、誰もが分かりやすく利用しやすいページ作成に努めた。

3 指標

No.	指標名	指標の概要	単位	H28	H29	H30	H31	R2	方向性	備考
A	市ホームページアクセス件数	市ホームページの年間アクセス件数	件	1,967,771	1,724,962	1,445,046	1,317,170	2,009,314	↗	No.8
B	子育てポータルサイトアクセス件数	子育てポータルサイトの年間閲覧ユーザ数	件	157,424	155,518	175,954	182,747	276,869	↗	No.9
C	Twitter フォロワー数	市公式Twitterアカウントのフォロワー数	件	4,361	4,880	5,351	7,496	8,451	↗	No.10 H28.10月～ YouTube開設 H30.12月～ Instagram開設
D	Facebook いいね数	市公式Facebookページのいいね数	件	1,195	1,571	1,721	1,881	1,991	↗	
E	YouTube チャンネル登録者数	YouTubeの市公式動画チャンネルのチャンネル登録者数	件	5	71	103	166	758	↗	
F	Instagram フォロワー数	市公式Instagramのフォロワー数	件	-	-	403	1,135	1,615	↗	
G	デジタルサイネージ設置台数	市内のデジタルサイネージ設置台数	台	10	11	11	11	11	↗	No.11
H	こまえ安心安全情報メール登録数	こまえ安心安全情報メール登録数	件	12,530	13,262	14,339	15,598	16,161	↗	No.13
I	オープンデータの公開	オープンデータのデータセット数	件	0	0	0	4	4	↗	No.14
K	市発行資料の閲覧回数	こまえ電子図書館で公開されている市発行資料の閲覧回数	回	-	-	-	-	2,036	↗	No.15 R2.6月～ 市発行資料件数 全62タイトル
L	ふらっと移動市長室の参加者数	ふらっと移動市長室の参加者数	人	40	18	-	8	37	↗	No.16 ～H29:市長を囲む会 H30未実施 H31～:ふらっと移動市長室
M	必要とする市政情報について、いつでも得ることができると感じる市民の割合	市民アンケート結果において、「得ることができる」あるいは「どちらかといえば得ることができる」と回答した方の合計人数の割合	%	-	-	68.5	-	73.4	↗	- 基本計画目標 R6:72.0%

4 施策に係る取組の事業費

(単位：千円)

No.	事務事業名	担当課	H28		H29		H30		H31		R2		備考
			決算額	うち 一般財源	決算額	うち 一般財源	決算額	うち 一般財源	決算額	うち 一般財源	決算額	うち 一般財源	
	広報関係費	秘書広報室	18,604	15,957	16,521	13,886	14,759	11,654	15,851	15,545	14,786	12,600	
1	広報こまへの発行	秘書広報室	15,809		15,187		13,202		14,419		12,502		
10	S N Sを活用した情報発信事業	秘書広報室	150		150		140		102		99		
11	デジタルサイネージの設置、運用	秘書広報室	36		35		35		36		35		
12	多言語アプリ「カカロゴポケット」の導入	秘書広報室	-		-		-		-		412		
16	ふらっと移動市長室の実施	秘書広報室	0		0		-		9		11		
18	パブリシティの活用	秘書広報室	0		0		0		0		0		予算化されていない事業
	安心で安全なまちづくり関係費	安心安全課	3,213	3,098	4,206	3,893	2,964	2,833	2,838	2,759	2,298	2,298	
2	安心安全通信の発行	安心安全課	1,934		1,954		1,821		1,725		1,587		
	市民活動関係費	政策室	7,365	7,365	7,365	7,315	7,689	7,689	7,769	7,769	8,726	8,726	H31までは市民活動・生活情報関係費
3	市民活動・生活情報誌「わっこ」の発行	政策室	7,365		7,365		7,689		7,769		7,945		
	一般事務費	地域活性課	2,032	2,032	2,055	2,055	2,738	2,737	2,850	2,300	2,338	2,327	
3	市民活動・生活情報誌「わっこ」の発行	地域活性課	1,069		1,069		1,128		1,199		1,236		
	環境保全実施計画推進	環境政策課	3,356	3,301	3,806	3,756	3,785	3,785	3,975	3,945	2,281	2,231	
4	環境広報誌「こまeco通信」の発行	環境政策課	2,568		2,564		2,483		2,520		1,907		H30より環境新聞からこまeco通信へ変更
	教育広報関係費	学校教育課	1,135	1,135	3,735	2,819	3,278	3,278	3,438	3,438	1,558	1,558	
5	教育委員会広報誌「ガク☆チキ」の発行	学校教育課	1,135		1,776		1,318		1,478		783		
6	こまえ公民館だよりの発行	公民館	※		※		※		※		※		※庁内にて印刷
7	こまえ図書館だよりの発行	図書館	※		※		※		※		※		※庁内にて印刷

(単位：千円)

No.	事務事業名	担当課	H28		H29		H30		H31		R2		備考
			決算額	うち 一般財源	決算額	うち 一般財源	決算額	うち 一般財源	決算額	うち 一般財源	決算額	うち 一般財源	
	ホームページ関係費	秘書広報室	1,718	0	1,718	0	1,718	0	2,941	0	1,738	0	
8	狛江市ホームページの運営	秘書広報室	1,718	/	1,718	/	1,718	/	2,941	/	1,738	/	
20	ウェブアクセシビリティ研修の実施	秘書広報室	0	/	0	/	0	/	0	/	0	/	予算化されていない事業
	子育てサイト事業	子ども政策課	3,325	1,663	4,868	2,434	2,877	1,439	2,824	1,412	2,782	1,390	
9	子育てポータルサイトの運営	子ども政策課	3,325	/	4,868	/	2,877	/	2,824	/	2,782	/	
	生活安全対策関係費	安心安全課	6,303	4,610	9,065	5,556	10,057	5,932	12,765	6,943	6,497	5,220	
13	こまえ安心安全情報メールの配信	安心安全課	356	/	356	/	356	/	359	/	363	/	
14	オープンデータの活用推進	総務課	-	/	-	/	-	/	0	/	0	/	予算化されていない事業
	中央図書館運営費	図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	70,670	60,613	
15	こまえ電子図書館による情報の公開	図書館	-	/	-	/	-	/	-	/	10,303	/	
17	市長への手紙制度	秘書広報室	※	/	※	/	※	/	※	/	※	/	予算化されていない事業
	災害対策関係費	安心安全課	145,521	21,721	32,281	32,281	25,548	24,288	33,289	22,788	73,497	45,524	
19	防災行政無線の運用	安心安全課	117,870	/	5,262	/	4,074	/	5,578	/	10,845	/	
	合計		153,335	/	42,304	/	36,841	/	40,959	/	52,548	/	

5 総括

取組の総括

1 総括した成果・課題

<成果>

広報紙、ウェブサイト、SNSをはじめとする各種広報ツールを活用し、市政情報等を幅広く入手できる環境づくりを進めるとともに、情報発信力の強化に努めた。また、広報紙については、全戸配布や新聞折込等の戸別配布に加え、公共施設や小田急線狛江駅・喜多見駅・和泉多摩川駅等の様々な場所に配架する等、広報紙ごとに配布方法や配架先を工夫することで、誰もが市政情報入手できるよう努めるとともに、視覚障がいのある方向けに市内の音訳団体の協力で毎月音訳版としてCDに録音し、希望する視覚障がい者へ社会福祉協議会を通して届ける等、より多くの方に伝える取組を行った。

各種広報ツールにおいて、それぞれの特色を活かした情報発信を行うとともに、市民の関心を引きやすく、かつ、情報が伝わりやすい紙面づくり、誰もが読みやすいレイアウトにするよう努め、様々な方法による情報発信を行うことにより、市民をはじめとする情報を伝えたい方が一番身近な広報ツールを自ら選択し、情報を得ること、かつ共有できるよう取り組んだ。

市政情報の発信のみならず、ふらっと移動市長室や市長への手紙制度を実施し、市民と行政が双方向にやり取りできる環境づくりを進めたほか、SNSを通じて、情報を受け取った方の反応をリアルタイムで伺うことができた。

新たな取組として、多言語アプリ「カタログポケット」を導入し、日本語を母語としない外国籍の方や障がいのある方に市政情報を届けること、また、こま電子図書館による、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため図書館の休館や外出自粛が求められる状況においても、情報を得ることができる非来館型のサービスを実施した。

市民活動・生活情報誌「わっこ」においては、平成14年に創刊して以来、狛江市の市民活動・生活情報誌として広く認知されていると実感している。「komaeの仲間」欄については、毎月多くの団体のイベント情報や会員募集の掲載申込みがあり、市民活動団体にとって貴重な情報発信の場となっている。

「安心安全通信」においては、防災・防犯に関する幅広い情報を市民へ発信し、防災・防犯意識の向上を図る等、一定の成果をあげることができた。

環境広報紙「こまeco通信」においては、市民の環境意識の喚起、実践行動の促進という目的を常に意識し、前例に囚われることなく効果向上につながるよう、令和2年度に内容をリニューアルし、市民の関心を引きやすく、かつ、読みやすい紙面づくりに努め、市民から好評の声をいただく等、一定の成果をあげることができた。

教育委員会広報誌「ガク☆チキ」においては、学校の先生や保護者の方々からも大変好評をいただいております。「学校と地域をつなぐ」というコンセプトに沿った活動ができていていると考える。また、教育部の各部署から選出された主事・主任級の編集委員が企画から発行までを行っており、チームワークを発揮して1つのものをつくり上げる過程において、部署を越えた横の連携だけでなく、責任感や使命感、行政の広報の型にはまらない自由な発想で物事を考える意識の醸成等、人材育成としての成果も期待している。

<課題>

行政との関わりが薄くなりがちな若い世代の方々に対して、どのように市政情報等を届けていくか、また、市に対して興味を持ってもらうかという点において、効果的な情報発信の検討が必要である。

市民との信頼関係を構築し、より一層市民参加と市民協働のまちづくりを進めていくため、市民と行政が双方向にやり取りができる取組を増やす必要がある。

2 狛江らしさの視点

SNSにおいては、市政情報の発信に留まらず、市民の関心がある話題（狛江の魅力、新聞・テレビ等の掲載）も発信することで、狛江への愛着の醸成、狛江ファンの獲得に取り組んでいる。

市民活動・生活情報誌「わっこ」においては、令和2年度は毎月1面に市内の見どころを12のルートでつなぎ紹介する「まちあるき」のコーナーを設け、配架期間が過ぎてからも当コーナー目当てにバックナンバーが欲しいという市民からの問合せも多くなったほか、市内での市民活動に関する情報や、市で活動する方に焦点を当てた記事を掲載する等、企画・掲載内容を充実させた。

環境広報紙「こまeco通信」においては、市民に環境意識の喚起を図る際には、水と緑をはじめとした狛江の魅力の保全という視点を取り入れつつ、情報発信を行った。

教育委員会広報誌「ガク☆チキ」においては、狛江というコンパクトであるという地域特性を活かし、市役所を飛び出し、実際に学校や地域の現場に足を運んで撮影や取材を行った。

3 市民参加と市民協働の視点

各種広報ツールにおいて、情報発信する内容は閲覧者やフォロワーの反応、社会情勢等に留意しながら発信するとともに、日本語を母語としない外国籍の方や障がいのある方等向けに、10言語対応の音声読み上げや文字拡大機能のある無料アプリ「カタログポケット」を導入する等、誰もが情報を得ることができるよう整備した。

市民と協働して作成し、情報発信を行う広報ツールもあり、市民目線の情報発信を行うことができた。また、地域の方々の声に耳を傾け、市内で活動されている様々な団体等について掲載することにより、地域の理解促進及び団体の活性化を図ることができ、市民協働を推進する広報紙となっている。

6 SDGsとの関係性

No.	目標	説明	関係性
1	【貧困】 貧困をなくそう	 あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。	
2	【飢餓】 飢餓をゼロに	 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。	
3	【保健】 すべての人に健康と福祉を	 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。	
4	【教育】 質の高い教育をみんなに	 【教育】すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。	
5	【ジェンダー】 ジェンダー平等を実現しよう	 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。	
6	【水・衛生】 安全な水とトイレを世界中に	 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。	
7	【エネルギー】 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。	
8	【経済成長と雇用】 働きがいも経済成長も	 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。	
9	【インフラ、産業化、イノベーション】 産業と技術革新の基礎をつくる	 強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。	

No.	目標	説明	関係性
10	【不平等】 人や国の不平等をなくそう	 各国内及び各国間の不平を是正する。	
11	【持続可能な都市】 住み続けられるまちづくりを	 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。	
12	【持続可能な生産と消費】 つくる責任 つかう責任	 持続可能な生産消費形態を確保する。	
13	【気候変動】 気候変動に具体的な対策を	 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。	
14	【海洋資源】 海の豊かさを守ろう	 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。	
15	【陸上資源】 陸の豊かさを守ろう	 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。	
16	【平和】 平和と公正をすべての人に	 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。	●
17	【実施手段】 パートナーシップで目標を達成しよう	 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。	●

※説明は外務省の日本語訳を参照しています。